



四日市支部だより

2019年1号(通巻32号)

昭和シェル社友会四日市支部

支部ホームページ

<http://www4.cty-net.ne.jp/~y-shayki/index.html>

最優先課題

支部執行体制の強化・確立

支部長 溝川 紳一

あけましておめでとうございます。

昨年は、ホームページの作成、懇親会等の行事の企画実行に力を発揮していただいた、富山実幹事の急逝という予想もしない出来事で活動が一時的に滞りましたが、皆様のご協力、ご支援のおかげで支部活動を立て直して進めることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

今年度は、会計監査に新しく佐合香さんに就いて頂き、右掲のような支部執行体制で活動していきます。また、ホームページは専任委員として永田修三さんをお願いして12月から活動を始めていただきました。支部執行体制の強化・確立を最優先課題として運営していく所存です。支部活動へのご支援と積極的な参加をお願い致します。

さて、昭和シェル石油と出光興産との統合は、昨年12月18日に開催した臨時株主総会で了承され、4月の統合に向けて進みだしました。両社の社員が一体となって会社を盛り上げていくことを期待するとともに、社友会全員で新しい会社へのバックアップ・応援をして行きましょう。

会員の動き

(敬称略)

◎支部会員数 317名(1月1日現在)

◎新入会者 … ありません

◎お悔やみ

山本 恵子 11月30日 (78歳)

伊藤 雅友 12月 4日 (81歳)

斉木 章三 12月11日 (82歳)

今村 栄一 12月25日 (81歳)

2019年度支部執行体制

支部長	溝川 紳一	(支部業務総括、慶弔、広報、 るいとう会担当)
副支部長	橋本 久雄	(旅行会、社会貢献担当、 るいとう会担当、全国大会実行委員)
事務局	市川 義行	(事務局、慶弔、るいとう会担当 支部HPサポート)
幹事	藤波 耕造	(旅行会担当、懇親会担当)
幹事	谷崎 雅敏	(旅行会、懇親会、社会貢献 各副担当)
会計監査	佐合 香	(新任)
支部ホームページ専任委員	永田 修三	(新任)
退任	富山 実	(幹事) ・ 島田 進 (会計監査)

2019年度年間行事計画

次の行事を計画していますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。詳細は、「支部だより」やEメール等でその都度お知らせいたします。

- (1) 支部総会・新春懇親会 2月 2日(土) 塩浜クラブ 11:00～
 - (2) 緊急連絡者会議 3月14日(木) 塩浜クラブ 11:00～
 - (3) 春の日帰り旅行 4月 8日(月) 行先等検討中
 - (4) 全国大会 6月15日(土) 昭和シェル石油(株)本社 台場フロンティアビル 13:30～
観光・見学 6月16日(日) 都内観光
- ※ 詳細は、本部から送られる「社友会だより・号外」を参照ください。
- (5) ハイキング会 (春) 5月11日(土) コース未定
(秋) 11月 9日(土) コース未定
 - (6) 夏季懇親会 8月22日(木) 四日市アサヒビアケラー
 - (7) 秋の旅 10月 7日(月) or 15日(火) 行先・日程等検討中
 - (8) アクティブ・シニアの会 11月16日(土) 60代会員懇談会 四日市市内
 - (9) 忘年会 11月30日(土) or 12月7日(土) 四日市市内
 - (10) 社会貢献活動
 - ・ 鈴鹿川クリーン作戦 3月 9日(土) 予定 (鈴鹿川堤防の清掃)
 - ・ RIJ募金 (総会、旅行会、夏季懇親会、忘年会時に実施)
 - (11) 「四日市支部だより」の発行予定 年4回(1月、4月、7月、10月)
 - (12) 支部ホームページの更新 各月の初旬 アドレス <http://www4.cty-net.ne.jp/~y-shayki/index.html>
 - (13) 幹事会の開催 : 年9回(毎月第3木曜日、3・12月第2木曜日、休会は2月、6月、8月)
 - (14) 同好会
 - ◎ゴルフ部 … コンペ4月・10月、中部支部との交流コンペ3月・9月
 - ◎ウォーキング部 … 原則毎月第2土曜日
 - ◎つり部 … 釣りを年に数回



平成30年度忘年会

～～ 製油所での女性活躍の場の広がりに関心 ～～

開催日 : 2018年12月12日(土)

午後0時15分～

場所 : 四日市プラトンホテル

来賓 : 昭和四日市石油㈱

取締役執行役員 四日市製油所長

若本 明 殿

取締役執行役員 大久保 和弘 殿

参加者 : 32名 (姓のみ・敬称略)

池田(久)・石川・石田・市川(義)

伊藤(滋)・北島・喜吉・吉良

佐々木(充)・佐藤(弘)・塩野・島田(進)

鈴木(康)・添田・竹野・田中(昭)

田中(彪)・谷崎・伝田・中村(軍)

中村(衛)・濱田・浜辺・速水・原川

・藤田(卓)・藤波(耕)・前川(忠)・水谷(勲)

溝川・山崎(嘉)・山田

今年の忘年会は、例年のような冷たい鈴鹿おろしもなく、風もなくポカポカと暖かい小春日和のようなお天気の中開催されました。

最初に溝川支部長の挨拶があり、出光興産㈱との統合後の社友会およびりとう会に関して、また、2019年度の全国大会については、昭和シェル石油(株)本社で開催されるとの話がありました。

続いて、ご来賓の若本製油所長様より、次のようなお話をいただきました。現在の四日市製油所の原油処理能力は、国内で3番目で255,000BBL/Dであること。現在従業員は約550名で30%が30歳以下となっており、今年は22名の入社があったとのこと。また、海上/RESIC/動力/HYDECで女性社員が交替勤務を試行しているとのこと。活躍の場が広がるのを期待しましょう。定修、工事関係では、秋にインテグの定修があり、省エネを目的に原油熱交の再配列を行った。また、震災対応でフィンガーピアの延長工事を行っていたが、2月より使用を開始し、古い栈橋は延命工事を行っているとのこと。さらに、震災対応として、事務所を塩浜グランドへ移転する計画であり、2020年5月に移転予定とのこと。

宴は、山田匡さんの「社友会活動に参加して健康寿命を延ばそう!!」という社友会の標語の紹介とともに乾杯のご発声を頂戴し、和やかに始まりました。途中、自動爛付け器がストライキを起こすハプニングもありましたが、若い佐々木充さんの初参加もあり、お酒の量とともに場を盛り上げていただきました。宴最高潮の中、「宴もたけなわですが・・・」「宴もたけなわですが・・・」と段々になにを大きくしての中締めのアナウンスがあり、水谷勲さんの一本締めにより、無事に幕を閉じました。ありがとうございました。
(ホームページ掲載の市川義行様んの原文の要約)

秋のハイキング会

「かもしか大橋」と湯の山温泉の紅葉

催行日 : 2018年11月10日(土)

行程 : 近鉄「湯の山温泉駅」9:45→「かもしか大橋」

→御在所ロープウェイ山麓駅→蒼滝

→大石公園(昼食・休憩)→三岳寺

→湯の山温泉バス停→近鉄「湯の山温泉駅」

(距離: 約12km)

参加者 : 12名 (姓のみ・敬称略)

市川(義)・伊藤(利)・喜吉・塩野・高木(勉)

伝田・中村(衛)・橋本・濱田・原川・福本

溝川

ウォーキング部に設定してもらった今回のコースは、湯の山温泉の災害対策用道路として8月24日に開通したばかりの「かもしか大橋」の雄姿を見て初渡りの体験、また色づいた紅葉を堪能しようとの贅沢な企画でした。

湯の山温泉駅を出発して「かもしか大橋」へ。橋からの眺めは抜群、西に「蒼滝」と鎌ヶ岳、東は遠く知多半島方面を、はるか下には三滝川。橋を渡ってロープウェイ山麓駅でトイレ休憩の後、蒼滝へ。急な階段の上り下りとなる。

空腹と喉の渇きを覚えながら昼食予定の「大石公園」に向かう。このすぐ上には、その昔、保養所「山峡荘」がありました。あずまのベンチを確保して、紅葉を愛でながら、横の旅館で調達した缶ビールで喉を潤して昼食となる。

帰路は、三岳寺に立ち寄って後、バスで駅まで戻る予定を変更して、歩いて戻りました。



湯の山温泉・大石橋での一枚

2018年秋の旅行 『歴史と酒蔵の街、京都・伏見の散策』

催行日 : 2018年10月15日(月)

行程 : 近鉄四日市駅8:00—四日市IC—(東名阪・新名神・名神)—京都南IC—伏見稲荷大社(参拝)
 一月の蔵人(昼食)—十国船(乗船)—寺田屋(見学)—月桂冠大倉記念館(見学)—京都南IC
 —(名神・新名神・名神)—四日市IC—近鉄四日市駅(17:30頃)

参加者 : 25名

池田(久)・市川(義)・伊藤(利)・伊藤(直)・北島喜吉・久保(康)・久保(玲)・小林(信)・佐藤(弘)・塩野・島田(進)・添田・竹野・谷崎・中村(衛)・橋本・濱田(一)・濱田(敦)・藤波(耕)・古市溝川・光本・山崎(嘉)・吉崎



伏見稲荷大社総門前で

出発前から雨が降り出し、心配しましたが、京都が近付くにつれて、いつしか天気も回復してくれました。

最初の目的地の伏見稲荷大社に到着して参拝に向かいました。しかし、ここは日本か?と疑いたくなるほどの海外の観光客で混雑していて、人気の赤い千本鳥居では満員電車なみの人で大渋滞。残念ながら入口だけで諦めました。

昼食は、清酒「月桂冠」の旧酒蔵を改装した「月の蔵人」でお酒と料理のマリアージュを楽しんだ。

次のコースは、遊覧船(十石舟)の乗船定員が20名とのことで、十石舟乗船と寺田屋・月桂冠大倉記念館見学の2班に別れ、そしてコースを入れ替わっての、夫々に歴史ある伏見の観光を楽しむこととなりました。

十石舟では、歴史に残る水路を爽やかな風を浴びて、ゆっくりと河岸の景色を眺めるのも良いものでした。そして寺田屋と月桂冠大倉記念館での見学では、坂本竜馬ゆかりの幕末の歴史と、伏見の酒造りの歴史に触れることが出来ました。

これで観光は終わり、バスは四日市へと帰路に就き、車中でのカラオケを楽しみながら渋滞に遭うこともなく順調に帰着することが出来ました。

(ホームページ掲載の橋本久雄さんの原文の要約)

同好会だより



伊勢街道:松阪・松ヶ崎から齋宮へ

1. 開催日 : 平成30年12月8日(土)
2. ルート : 近鉄松ヶ崎駅集合~松阪~垣鼻 ~上川町~榎田川
~近鉄齋宮駅 距離:約14.0km(18,800歩)
3. 参加者 9名 : 伊藤(利)・伊橋・喜吉・高木(勉)伝田・中村(衛)
(姓のみ・敬称略) 原川・福本・濱田

5月、7月、10月に続いて4回目の伊勢街道歩きである。

11月中から暖かかった陽気も一転、この日から冬将軍の到来を告げるような冷え冷えとした朝を迎えた。

街道筋に入るとすぐのところ、古川水神が祀られ、常夜灯としては珍しく地面に燈明の頭のみ置かれていた。そこから200mほど先の百々川右岸に1852年に建立された常夜灯が目につく。連格子の民家、なまこ壁の土蔵等、往時の景観が残る街道を進み、坂内川に架かる大橋を渡ると松阪で一番賑やかな商人の町、中町、日野町に入る。橋の袂には資料館・松阪商人の館、その隣に三井財閥の三井家発祥の地の看板が掲げられている。

ここ松阪市は歴史上の人物を輩出して、北海道を命名した松浦武四郎、国文学者の本居宣長、三井家の三井高利、戦国武将で松阪開府の祖・蒲生氏郷などが思い浮かぶ。

JR徳和駅を過ぎて進むと古い常夜灯と連格子の民家が軒を連ねている。この辺りは、守山宿と呼ばれ、宿場町だった。榎田川の堤防で休憩を取り、明和町に入る。今日は明星まで歩く予定であったが、この後、松阪まで戻って納会(忘年会)をするので齋宮で打ち止めとする。齋宮駅から電車で松阪駅まで戻り、駅前のレストランで『乾杯』。

(ホームページ掲載の濱田一さんの原文の要約)

ウォーキング部



榎田川の堤防で一休み



ゴルフ部

ゴルフ部コンペ : 2回/年 (春・秋)
 中部支部交流コンペ : 2回/年 (春・秋)

連絡先 : 佐藤 弘二 さん TEL059-326-0309



釣り天狗

年に数回の釣行を計画します。

連絡先 : 原川 孝光 さん TEL059-326-3287